

| | | |
|--|------------------------------|---|
| 平成21年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 4年次・通年・A群 |
| | 対象学科・専攻 | 機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科 |
| ドイツ語 (Deutsch) | 担当教員 | 保坂直之 (Hosaka, Naoyuki) |
| | 教員室 | 図書館2階 (tel 42 - 9064) |
| | E-Mail | hosaka@kagoshima-ct.ac.jp |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義 / 学修単位[講義] / 2単位 | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 〔授業(100分) + 自学自習(80分)〕 × 30回 | |
| 〔本科目の目標〕視聴覚教材を用いて、ドイツさらにはヨーロッパの文化やものの見方に触れさせ、さまざまな異文化を受け入れる多角的な視野を身につけるとともに、簡単な日常的コミュニケーションが可能な程度の基礎的語学力を養うことを目標とする。(初級ドイツ語前半) | | |
| 〔本科目の位置付け〕本科目の学習は、初級ドイツ語全体を習得するための基礎的知識となる。また、さまざまな語学を実践的に学習するための方法的感覚も養う。 | | |
| 〔学習上の留意点〕視聴覚教材を中心に据え、生きたドイツ語を聞き、話す、コミュニケーション主体の発信(対話)型授業を行い、あわせて音楽、映画、新聞、雑誌、テレビニュース等を随時授業に導入する。後期にはドイツ語でのみ説明する時間を増やして行く。授業内容をよく理解するために、テキストの音読や課題学習などを含む復習、小テストへの準備などが必要である。 | | |
| 〔授業の内容〕 | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標 |
| 1.A.自己紹介・友人の紹介 1.B.Guten Tag, F-1 1.C.文法：動詞の現在人称変化1 1.D.講読練習 (前期中間試験) | 15 | *動詞の人称を自由に変えて、自己紹介・友人の紹介ができる。 *挨拶、丁寧な命令文、疑問文が使える。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目1について達成度を確認する) |
| 2.A.Guten Tag, F-2 2.B.文法：冠詞と名詞 2.C.講読練習 (前期末試験) | 15 | *疑問詞で場所をきくことができる、machenを使った表現が使える。 *定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、定型2位原則が理解できる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目2について達成度を確認する) |
| 3.A.Guten Tag, F-3 3.B.文法：現在人称変化2・名詞の複数形 3.C.講読練習 (後期中間試験) | 15 | *部屋探しの表現、前置詞zuでの目的表現が使える。 *現在人称変化で語幹を変化させる動詞、名詞の複数変化語尾が理解できる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目3について達成度を確認する) |
| 4.A.Guten Tag, F-4 4.B.文法：定冠詞類 4.C.講読練習 | 10 | *habenを使った表現、es gibt...が使える。 *dieser型、mein型の語形変化を理解し、jaとdochを使い分けできる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 |
| 5.A.Hallo München他 5.B.文法：前置詞 5.C.文法：人称代名詞 (学年末試験) (試験答案の返却・解説) | 5 | *願望の表現、所有冠詞が理解できる。 *前置詞の格支配が理解できる。 *人称代名詞が理解できる。 (授業項目4,5について達成度を確認する) (各試験において間違った部分を理解できる) |
| 〔教科書〕Guten Tag, Goethe Institut, Langenscheidt(プリントで配布) 『ドイツ文法100語の世界』(清水薫著) 同学社 | | |
| 〔参考書・補助教材〕『アポロン独和辞典』 同学社 | | |
| 〔成績評価の基準〕中間および期末試験(60%) + 小テスト等(30%) + 課題点(10%) | | |
| 〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕2-c, 4-b | | |
| 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕2-3, 4-3 | | |
| 〔JABEEとの関連〕(a), (f) | | |